

千葉大学病院にて人工肩関節置換術を行った 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年5月18日

整形外科

整形外科では、「反転型人工肩関節置換術後合併症に関する有限要素解析」に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2014年4月1日～2023年3月31日の間に人工肩関節置換術をされた方

1. 研究課題名

「反転型人工肩関節置換術後合併症に関する有限要素解析」

2. 研究期間

2023年承認日～2025年5月31日

この研究は、千葉大医学部附属病院観察研究倫理委審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

肩腱板断裂は中高年の肩痛の原因となる代表的な疾患です。また、75歳以上の約半数に腱板断裂が存在するという報告もあり、超高齢化社会である日本では今後更なる増加が予想されます。長らく治療が難しかった修復できないほど大きな腱板断裂に対する治療として、日本では2014年から上腕骨頭と肩甲骨関節窩（受け皿）の位置を入れ替える反転型人工肩関節置換術が行えるようになりました。その成績は良好であるという報告が多いですが、三角筋の負荷が大きくなることによる術後の肩峰（肩甲骨の一部）骨折という特有の合併症が存在するなど、いくつかの問題を抱えています。そこで、千葉大学では反転型人工肩関節置換術後の合併症や、挿入したインプラント

周囲への影響を調査するために手術前後の画像データを用いた有限要素解析を行うこととしました。この研究の目的は、有限要素法を用いて反転型人工肩関節置換術後の合併症（とりわけ肩峰骨折）やインプラント周囲への影響を評価することです。

4. 研究に用いる情報の種類

- ・年齢、性別、身長、体重
- ・既往歴
- ・手術記録
- ・人工肩関節置換術前後の画像データ

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：千葉大学医学部附属病院 整形外科 准教授 落合 信靖

【共同研究機関等】

なし

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部本館整形外科医局の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院整形外科

医師 稲垣健太

043 (222) 7171 内線72213